

VERP (Visitor Experience and Resource Protection)について

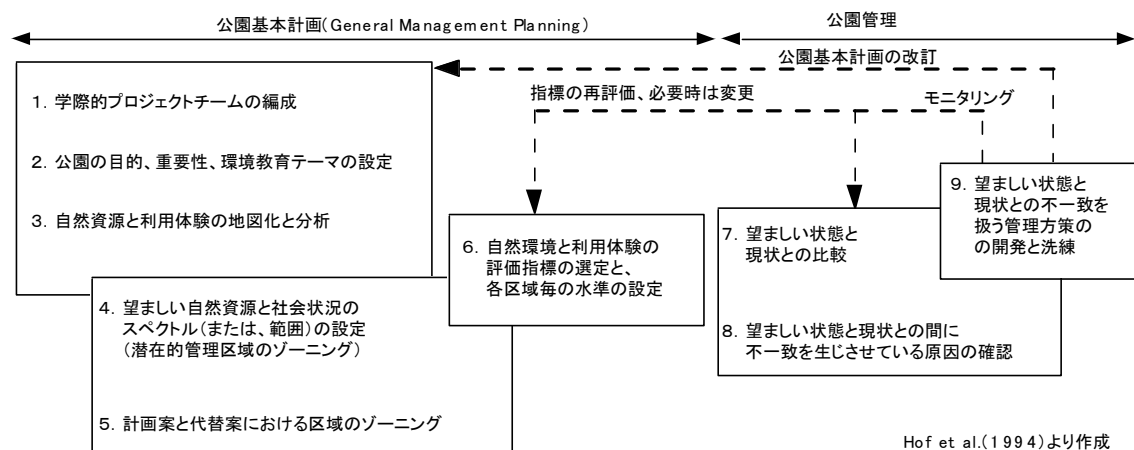
愛甲 哲也（北海道大学大学院農学研究院）

アメリカの国立公園局で、General Management Plan 基本管理計画を定めるためのフレームワークで、収容力の概念を公園計画に反映させることを意図したもの。第2段階の「公園の目的、重要性、将来目標またはテーマ設定」が、ゾーニングや管理方策を選択し、モニタリングを行う基本事項となっている。

公園の目的：なぜ国立公園として指定されたのか。

公園の重要性：何がその地域をユニークにしているのか。

公園の将来目標：管理によって目指すべき将来の状況



例えば Zion National Park の基本管理計画書では、

この公園の目的は：渓谷を創造した自然のプロセスを保全する。

アメリカ先住民の考古学的遺産を保全する。

科学的調査やレクリエーション利用のために手つかずの自然を守る。

孤独から、込み合った観光利用まで多様な体験を提供する。

この公園の重要性は：世界でもっとも高いところにある砂岩の峡谷

渓谷をけずってコロラド平原をながれるヴァージン川

渓谷地形に依存する数多くの動植物のすみか

アメリカ先住民の遺跡、モルモン教徒の居住地であった

この公園の将来目標は：利用者に Zion の教育的、レクリエーション的な機会を提供する

動植物が健全な状態で維持される。

文化的資産の持続的利用

公園の目標を達成するために、関係者のパートナーシップを確立

あるべき姿とは、自然環境と利用上の特徴を整理し、本来の姿、守るべきものを明確に記述